



成美っ子

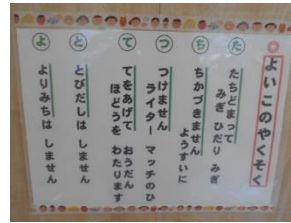
高岡市立成美小学校
H30年10月3日

「秋の日はつるべ落とし」

今年度も折り返し地点を越え後半となりました。1年生が「手」「青」「空」と、漢字をすらすら書いています。ついこの間入学したようにも思えるのですが、一生懸命なその姿に月日の過ぎる早さと成長を感じます。

その1年生の教室に「よいこのやくそく たちつてと」と、安全の約束が掲げてありました。担任の先生に尋ねると、帰りの会で毎日唱えているとのこと。何と下足箱にも貼ってありました。「立ち止まって、右、左、右」「近付きません用水に」「つけませんライター、マッチの火」等々、毎日唱えることで、心に刻めることが期待されます。

安全に関しては、成美小学校では毎月初めの月曜日に、全校一斉に集団下校を行っています。これは緊急時の下校への備えとともに縦割りグループでの安全な登下校の仕方の確認にも役立っています。「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、日一日と、日が暮れるのが早くなってきました。暗くなると交通事故の危険も増します。子供たちには、くれぐれも「明るいうちに帰宅すること」「飛び出しをしない」「自転車乗車時は必ずヘルメットを着用する」等、交通安全にいつそう気を付けて欲しいと願っています。



なお、10月に入り、学習発表会に向けてステージでの練習が本格的に始まってきました。今年の学習発表会は10月21日(日)、児童会のスローガンは「心の花を届けよう みんなで協力、笑顔あふれる学習発表会」です。子供たちは全員で協力して一生懸命練習しています。当日はその成果を発揮し、「頑張った」と、達成感を味わって欲しいと願っています。

保護者・地域の皆様には、ステージ発表の衣装や遊休品セール等、様々にご協力を頂きありがとうございます。多数のご来校をお待ちしております。

「高岡市花いっぱい連盟主催 61回花壇コンクール」高岡市長賞 「第45回富山県花のまちづくりコンクール学校花壇部門」最優秀賞

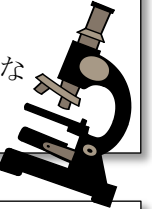
おかげさまで伝統の花壇が、市のコンクールでは引き続き市長賞、県では今年最優秀賞を受賞しました。学校の花壇は地域の方からご指導を受けながら、栽培委員会や担当の先生方を中心に、子供たちが心を込めてお世話を続けています。

10月1日(月)に高岡市役所で行われた市の表彰式には、栽培委員長・副委員長の6年中村さんと西島さん、花壇担当の高橋教諭が出席しました。県の表彰式は10月25日(木)に県民会館で行われます。花壇の土の耕しに始まり、水やりや除草等、保護者・地域の皆様方から多くのご指導・ご支援を頂き感謝申し上げます。

<第65回高岡市小・中学校化科学展覧会> 9月8日(土)~9日(日)

市内小・中学校から代表の児童・生徒の科学作品が戸出コミュニティーセンターに展示されました。観察・実験や調査・研究等、どの作品からも夏休み中の努力の成果が伺われ、なかなかの見応えがありました。

成美小学校からは3名(1年、3年、4年)が出品し、全員入賞と大変立派な成績でした。なお、3年生の作品は最優秀賞となり県大会にも出品されます。



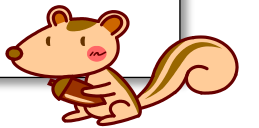
<「認知症ってなあに？」認知症サポーター養成講座> 6年 9月12日(水)

成美校下社会福祉協議会萩下会長さんをはじめ、地域包括支援センターの方々等にお越し頂き、6年生の子供たちが「認知症とは何か、また、認知症の人とどのように接すればよいのか」を学びました。

「日本の高齢社会と認知症」の資料では、30年後には、全国で3人に一人が65才以上の成熟社会になると予想されています。「認知症サポーター」とは、特別なことをする人ではなく、認知症の人の応援者であり、温かい目で見守る人と、ありました。

包括支援センターの方々からは、クイズや劇等で分かりやすく、時にユーモアも交えながら高齢の方への声かけの仕方等を教えて頂きました。温かく哀しく心に響く詩の紹介もあり、会場が優しい雰囲気になりました。

~キャッチフレーズ「認知症、優しいまなざし、あったかハート」~



<防災会議>

3年生以上の学級代表が地震・津波訓練後に各クラスで振り返ったことを持ち寄り、次のめあてや全校のみんなにもっと広めたいこと等を真剣に話し合っていました。頼もしさが感じられました。



<ボランティア委員会アルミ缶回収>

9月26日(水)~28日(金)

今年の夏の暑さの影響でしょうか。「去年より多い！」との声が聞こえてきました。

おかげ様でたくさんアルミ缶が集まりました。ご協力ありがとうございました。

